

## 医療技術短期大学の WWW サーバの運用と情報公開について

百瀬由美子<sup>1)</sup>, 小林千世<sup>1)</sup>, 鈴木治郎<sup>2)</sup>

**A note on the management of WWW-server  
at School of Allied Medical Sciences, Shinshu University**

This is a survey article for the WWW-server on our school from September 1996 to August 1997. One of the most development of contents is the subject for Nursing by visual representation. We set the aim of this contents to high school students who can know the scene of nursing exercises.

### Key Words :

Nursing education (看護教育), Internet (インターネット), WWW (WWW)

### はじめに

前報告<sup>1,2)</sup>では大学における情報公開の一環として、信州大学医療技術短期大学部（以下「医短」と略す）のホームページの公開およびその運営に関する統計情報等について報告した。とくにマスコミを通じた情報によるデフォルメされた看護婦（士）像の形成を問題点と意識して、直接に教育現場から発信される情報を看護学科を志望する高校生に伝えることを目的にホームページ項目の追加を図った<sup>2)</sup>。

その後、医短の学内施設見学会への興味の高いことに応じて、実習風景や実習施設の動

画像を利用した情報発信を付加したので、そのことについて報告する。また、前報告に引き続き医短サーバの運用状況を統計情報とともに述べる。

### 実習室画像の追加について

1. 学内施設見学会に見る高校生の興味  
看護婦（士）に対するイメージ形成が、個人的なコミュニケーションを通じた場合を除いて、マスコミ等を通じての一方的な情報に多くを依存していることについて前回<sup>2)</sup>で論じた。

毎年7月に実施している、高校生を対象とした医短における学内施設見学会の見学者数の

1) 信州大学医療技術短期大学部看護学科；MOMOSE Yumiko, KOBAYASHI Chise, Dept. of Nursing, School of Allied Medical Sciences, Shinshu Univ.

2) 信州大学医療技術短期大学部一般教育等；SUZUKI Jiro, Liberal Arts, School of Allied Medical Sciences, Shinshu Univ.

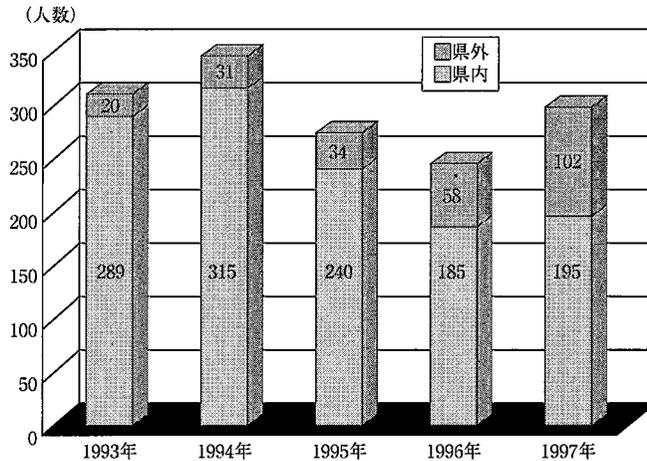


図1 学内施設見学者数の推移

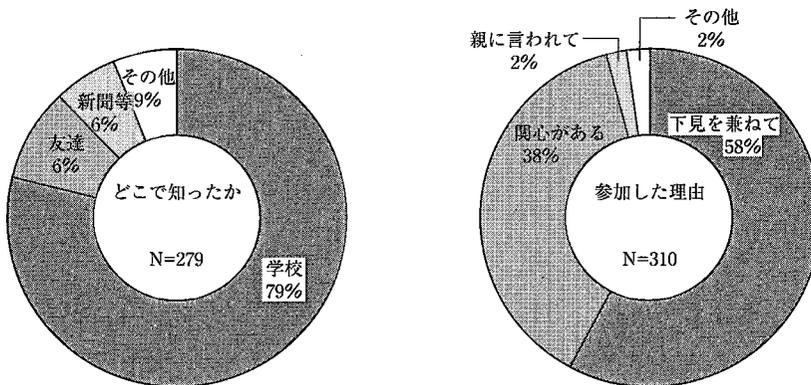


図2 見学会に関するアンケート調査

過去5年間の推移を図1に示す。見学者は例年ほとんどが県内の高校生であったが、今年はやや県外者の増加がみられた。これらの県外者の98%は、関東および中部地方であった。

また、見学会の情報入手経路および参加理由について、見学会当日に実施したアンケート調査（学務係調べ）の結果を図2に示す。見学会の情報、学校から得たものが78%を占め、また参加理由は下見を兼ねて（58%）と関心がある（38%）で占められていた。

## 2. 実習室パノラマ写真の作成

デジタルカメラ Kodak DC 40（レンズ32 mm相当）を用いて基礎成人実習室の中心から壁方向を18枚の写真に撮影し、それを Real Space 社のソフトウェア RealVR/Xtraにより Macintosh 上で360度の視野を体験できる QuickTimeVR パノラマ写真<sup>3)</sup>に合成した。この写真は Netscape Navigator 等のインターネットブラウザに Apple 社提供の QuickTime Plug-in を組み込めば閲覧できる。

## 3. 実習室画像の効果

医短の見学会参加者はほとんど県内の高校生



図 3

に限られている。また、見学の動機のほとんどは看護婦（士）等の仕事に興味を覚えても、そのための学習する環境や、どんな学習が必要とされるかわからない不安が主な問題であると推測される。そうした状況に対して、県内に限らず、医短の実習状況を伝えることを可能にする本報告による画像の提供は、十分に看護婦（士）志望の高校生の要望に応えるものであると考える。

### 1年間の運用状況

1996年9月から1997年8月にかけての本学WWWサーバーの運用状況を以下にあげる。前回より学内からのアクセス数（アクセス全体の約2割）を除いたものについてのみあげてある。

図4および図5に見るように、アクセスの総数およびアクセスしたホストの総数ともに停滞している。これは、社会的にインターネット利用者の急増している影響が本学サーバーには現れていないことを示す。原因として、再訪するだけの魅力に乏しいものと推定される。

『インターネット白書97<sup>4)</sup>』によれば、この1年間に国内のホスト数は3.0倍になり、

国内のインターネット利用者数は推定570万人にのぼる。こうした状況を考えれば、魅力ある情報の発信を行なえば、医短の魅力を知ってもらうのに十分に役に立つはずである。

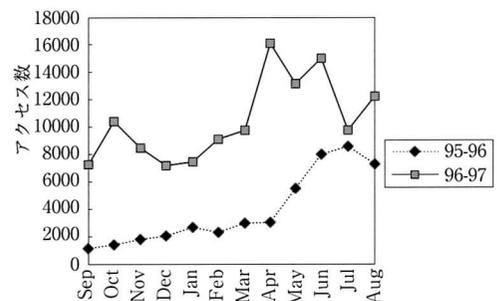


図 4

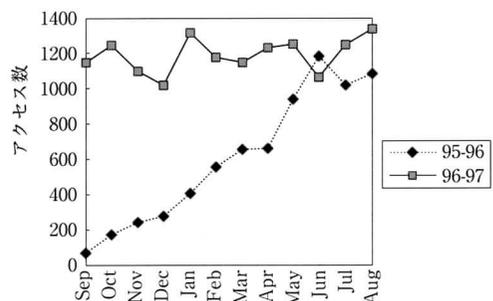


図 5

なお、医短内に置かれている生命倫理関連のホームページ統計は、別サーバー上で運用されているため、上記データに含まれていない。

### 参考文献

1) 鈴木治郎, 矢部正之: 医療技術短期大学部 WWW サーバーの構築について, 信州大学医療技術短期大学部紀要, 21: 145-151, 1995.

2) 小林千世, 百瀬由美子, 曾根原純子: 医療技術短期大学部 WWW サーバーの運用について, 信州大学医療技術短期大学部紀要, 22: 145-151, 1996.

3) Apple Computer Inc., QuickTime VR 2.0 Authoring Tools Suite (Manual), 1997

4) 日本インターネット協会編: インターネット白書'97, インプレス, 1997.

受付日: 1997年10月1日

受理日: 1997年11月25日